

# WAP125 および WAP581 のクライアントを監視して下さい

## 目標

無線で接続されたユーザ向けの最適環境はスムーズに動作する本番およびビジネスを保存する方法です。WAP125 のダッシュボード ページがクライアントとワイヤレスアクセスポイント間のワイヤレス接続を監察し、維持し、最適化するのに使用されています。それは無線ネットワークでトラフィック 統計のリアルタイム更新を提供します。グラフおよびグラフのような視覚化された統計情報によって、より容易およびより便利に最適化かトラブルシューティングを必要としてあるネットワークのエリアを描写し、正確に示すためにさせます。それにまたショートカットのセクションがあります

この資料の目標は WAP125 および WAP581 の Client ページのクライアントを表示し監視する方法を示すことです。

## 適当なデバイス

- WAP125
- WAP581

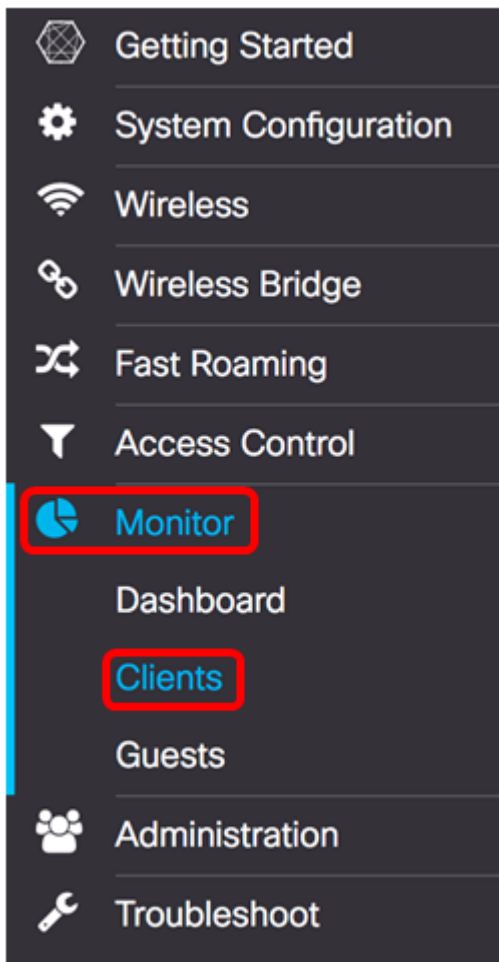
## [Software Version]

- 1.0.0.4

## クライアントを監視して下さい

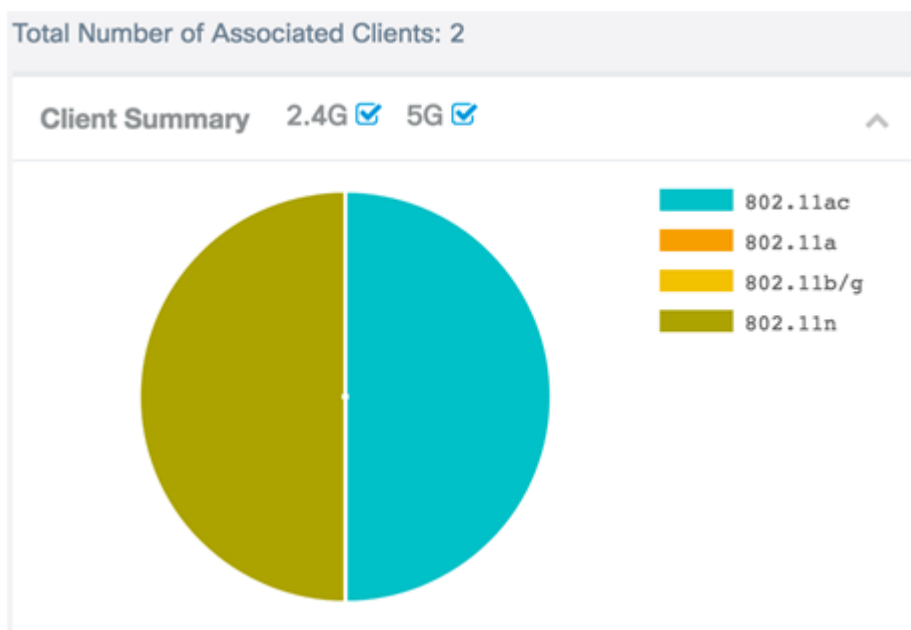
### クライアント 要約

ステップ 1. Webベース ユーティリティへのログインは > クライアント 『Monitor』 を選択し。



クライアント サマリー エリアでは、パイ チャートは 802.11 型に基づいてネットワークに接続されるクライアントの要約を表示する。802.11 型は次のとおりです:

- 802.11ac — 802.11ac IEEE規格は 5 GHz 帯域の 6.9 Gbps、か 11.5 回に理論的を高速化します 802.11n のそれら可能にします。
- 802.11a — 5GHz スペクトルで操作します
- 802.11b/g — 2.4GHz スペクトルで操作します
- 802.11n — 2.4GHz および 5GHz 両方でスペクトル操作します



注: この例では、接続されたクライアントの 50% は 802.11ac によって接続され、他の 50%

は 802.11n で接続されます。

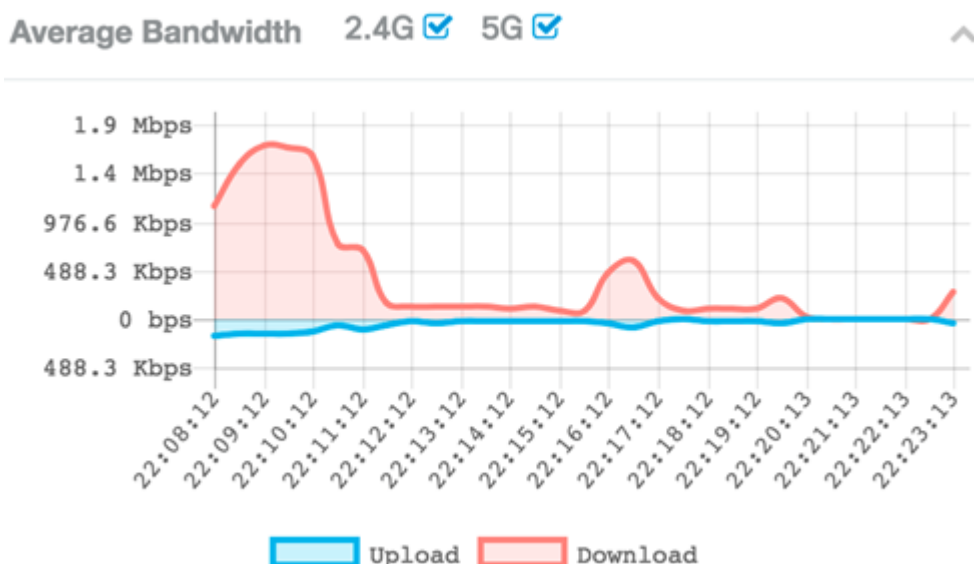
どので型を操作するか特定の無線帯域の関連するクライアントを監視するステップ 2. ( オプションの ) は、より多くの詳しい 要約を表示するためにチェックボックスをチェックするか、またはチェックを外し。

注: この例では、5G はチェックを外されます。 1.だけはであるかこの例のどれ何人クライアントが特定の無線帯域を通して接続されるか表示します。



## 平均帯域幅

平均帯域幅は Mbps のクライアント 帯域幅を表示する。 グラフは 30 秒毎にアップデートします。

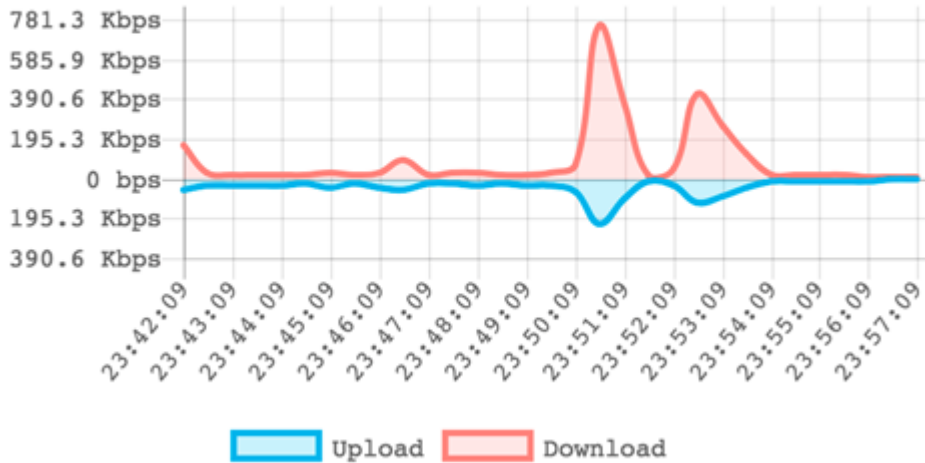


ステップ 1. ( オプションの ) チェックはまたはアップロードのより多くの詳しい 要約および各無線周波のダウンロードを表示するためにチェックボックスのチェックを外します。

注: この例では、2.4G はチェックされます。

Average Bandwidth

2.4G  5G

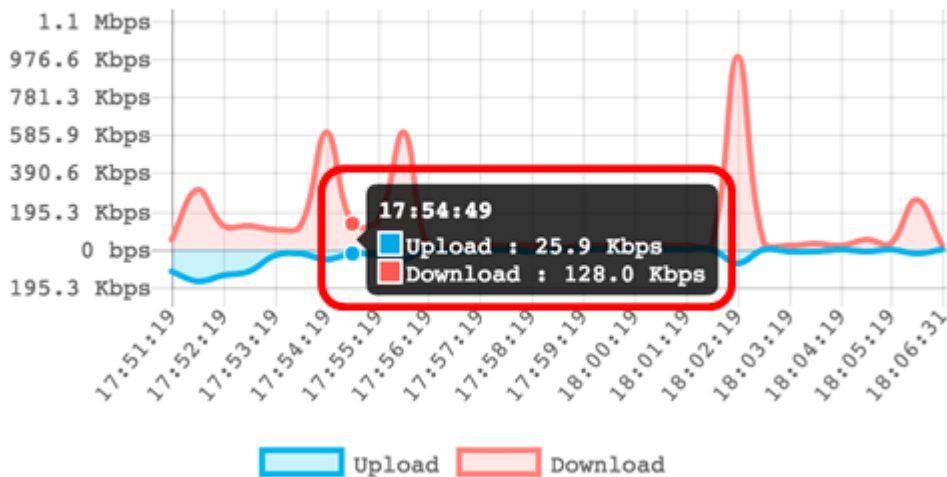


ステップ 2. ネットワークの特定の時点の特定および比較伝送速度を表示するグラフのポイントカーソルは浮かびます。

注: この例では、ポイント 17:54:49 は表示する。

Average Bandwidth

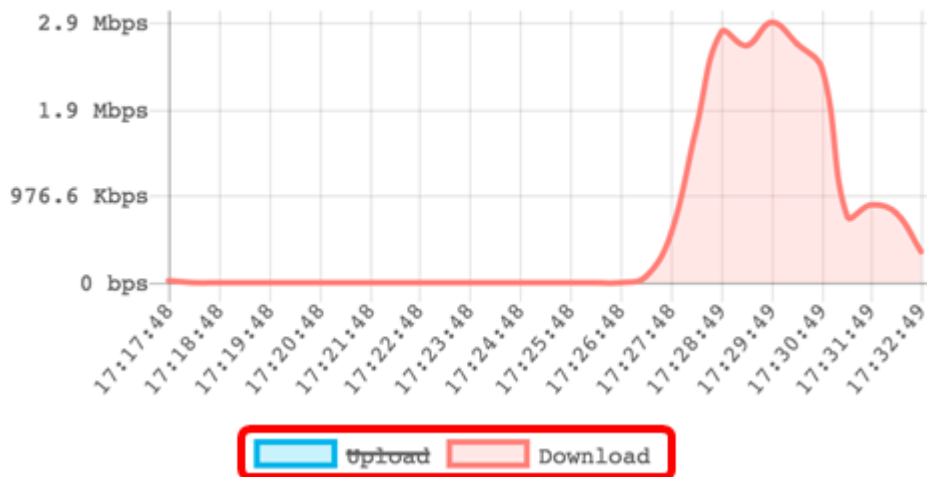
2.4G  5G



ステップ 3. ( オプションの ) はネットワークの帯域幅の利用の隔離された概観があるために『Upload』 をクリックするか、またはダウンロードします。

注: この例ではダウンロード帯域幅の隔離された概観があるために、アップロードはクリックされます。

Average Bandwidth 2.4G  5G



## 最も低い SNR クライアント

最も低い SNR クライアント エリアは最も低いから最も大きい Signal to Noise Ratio (SNR) に 5 人までのクライアントを表示する。比率はむしろデシベル (dB) で測定される信号強度とバックグラウンドノイズの違いです。式は次のようになります。

信号レベル-ノイズレベル = SNR

信号強度が 0 を増加するか、またはアプローチするとき、ノイズレベル低下はこうして関連するクライアントの接続の品質を判別します。

Lowest SNR Clients 2.4G  5G

Low SNR Clients SNR Signal Meter

7a:f0:76:7a:7a:7a

-38 dB



## 低速クライアント

低速クライアント エリアは最も低い接続速度の 5 人までの関連クライアントを表示する。

Lowest Speed Clients 2.4G  5G

Low Speed Clients Mbps Throughput Meter

7a:f0:76:7a:7a:7a

72.2



## Associated Clients

WAP125 を使用している場合、もののように関連するクライアント エリア見え下記に:

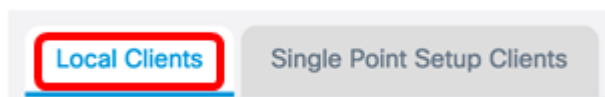
Associated Clients

T

Clients Details	Network (SSID)	Mode	Data Rate	Channel	Traffic (Up/Down)	SNR (dB)	Throughput Meter
7a:f0:76:7a:7a:7a	WAP125	N	72.2 Mbps	6	29.4 MB / 1.7 GB	-35	

WAP581 にローカルクライアントおよび一点セットアップクライアントに専用されている 2 つのタブがあります。一点セットアップは WAP581 だけで利用可能の機能です。

ステップ 1: WAP581 で、ローカルクライアント タブをクリックして下さい。



WAP125 からの関連するクライアント エリアおよび WAP581 からのローカルクライアント エリアは次の詳細を表示する:

Associated Clients

Clients Details	Network (SSID)	Mode	Data Rate	Channel	Traffic (Up/Down)	SNR (dB)	Throughput Meter
7a:f0:76:7a:7a:7a	WAP125	N	72.2 Mbps	6	29.4 MB / 1.7 GB	-35	<input type="text"/>

- クライアント 詳細—クライアントはエリアを表示します関連するクライアントのメディア アクセス制御アドレスを詳述します。
- ネットワーク ( SSID ) —関連するクライアントのサービス セット ID ( SSID ) を表示する。
- モード—関連するクライアントの IEEE 802.11 モードを表示する。これらのモードは G、N、B、AC および C のどちらである場合もあります。
  - G — 802.11g を表します
  - N — 802.11n を表します
  - B — 802.11b を表します
  - AC - 802.11ac を表します
  - c — 802.11c を表します
- データ レート— WAP が送信している比率。
- チャンネル—ネットワークが関連するクライアントの SSID ブロードキャストしているチャンネル。
- トラフィック ( Up/Down ) —関連するクライアントが送信 する トラフィックを表示する。
- SNR ( dB ) —デシベル ( dB ) の Signal to Noise Ratio ( SNR ) 強度を表示する。
- スループット メートル—最後の 30 秒のスループットかデータ レート。

今 WAP125 および WAP581 のローカルおよび関連するクライアントを表示する必要があります。

### 一点セットアップクライアント ( WAP581 だけ )

一点セットアップは機能をサポートするアクセス ポイントのグループを展開し、管理することを可能にする簡単な、マルチデバイス管理 技術です。それはそれらを個別に設定するかわりに一点からのアクセス ポイントのグループの設定の利便性を提供します。それはまたアクセス ポイントをローカルまたはリモートで管理することを可能にします。一点セットアップ Clients タブは一点セットアップによってネットワークに関連付けられるクライアントを表示することを可能にします。

ステップ 1.一点セットアップ Clients タブをクリックして下さい。

一点セットアップ クライアント エリアは次の詳細を表示する:

MAC Address	IP Address	Network (SSID)	Mode	Data Rate	AP Location	Channel	Traffic (Up/Down)	SNR (dB)	Throughput Meter
7a:80:79:7a:7a:7a	192.168.100.20	Int_Pickle_Rick	N	72.2 Mbps	GroundFloor	6	992.4 KB / 46.2 MB	-34	

- クライアント 詳細—クライアントはエリアを表示します関連するクライアントのメディア アクセス制御アドレスを詳述します。
- ip address —関連するクライアントの IP アドレス。
- ネットワーク ( SSID ) —関連するクライアントのサービス セット ID ( SSID ) を表示する。
- モード—関連するクライアントの IEEE 802.11 モードを表示する。これらのモードは G、N、B、AC および C のどちらである場合もあります。
  - G — 802.11g を表します
  - N — 802.11n を表します
  - B — 802.11b を表します
  - AC - 802.11ac を表します
  - c — 802.11c を表します
- データ レート— WAP が送信している比率。
- アクセス ポイントの AP location — 物理的な位置。これは管理者が定義するインポートです。
- チャンネル—ネットワークが関連するクライアントの SSID ブロードキャストしているチャンネル。
- トラフィック ( Up/Down ) —関連するクライアントが送信 する トラフィックを表示する。
- SNR ( dB ) —デシベル ( dB ) の Signal to Noise Ratio ( SNR ) 強度を表示する。
- スループット メートル—最後の 30 秒のスループットがデータ レート。

今正常に WAP581 の一点セットアップ クライアントを表示する必要があります。